

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 令和 2年10月10日
(89号)



[事務局] 〒648-0094
橋本市三石台4-1-15
TEL 0736-38-3669
FAX 0736-38-3680
発行 學塾・中之島事務局

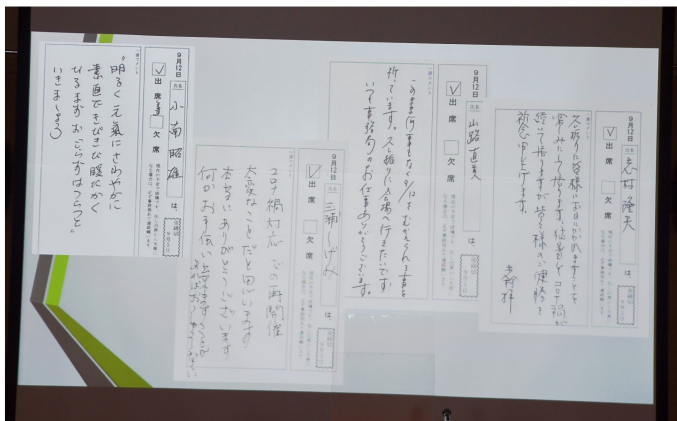


場内は、三密を避けご不便をお掛けいたしますがイス席のみです!!

大変お待たせいたしました!!
新型コロナウイルスの蔓延により、三月より休
塾していました学塾・中之島が満を持して、
九月十二日より開塾いたしました。
お二人の顧問をお迎えし、塾生の出席率約65
%ではありましたがみなさま方のお元気な笑顔
に接することができ安堵致しました。
今後は、現況コロナ禍の影響を考慮しながら
安全で安心な「学びの非日常空間」を提供でき
ますよう検討してまいりますので、ご協力の
ほど宜しくお願いいたします。

第九期開塾される!!

ご出席のみなさま方よりコロナ禍における予防策や対応策など、近況をお話し頂きました。
場内は、大阪大学本部からの指導もありソーシャルディスタンスを遵守して大変ご不便をお掛
けいたしますが、今後もイス席のみの設営での開講とさせていただきます。



お送り頂いた出欠はがきを映像で披露・・・!!



顧問のご臨席も賜りお言葉を頂戴いたしました!!



「三つの誓い」も大声でなく、小声で!!



歌唱もDVDで、みなさんは声を出さず心の中で・・・!!

《大悟徹底》

寺田一清先生寄稿録



「節から芽が出る」

若き日によくお聴きした格言に

「通さぬは 通すがための道普請」という一句があります。よく道路工事のため、一方通行もしくは通行止めの標識が立っています。これは道路の補修工事や新規拡張のための工事中で、通行を容易にするため一定期間の辛抱をしてくださいとのこと。

いまひとつは「竹に節あり節から芽が出る 人生またしかり」という一句です。これもあれも人生の節、すなわち逆境にあたるコトバです。

森信三先生も「逆境に処する態度」について数多くのコトバを残してくださっておりますが、そのもつとも有名なコトバとしては、

○ 逆境は神の恩寵的試練なり

の一語に尽きます。森信三先生も生後二歳にして両親が不縁のもと母は郷里に帰られ、三歳にして縁もゆかりもない小作人の農家にもらわれて生育せられました。これをはじめとして幾多の苦難を味わっておられますが、いまひとつ大きな逆境的試練は、四三歳にして満州国新京の建国大学教授に就任せられ、そこで終戦後の苦難を異国にてつづさに体験せられ、奉天市内の廃屋にて零下三〇度にて凍餓死まで覚悟せざるを得ない状況まで迫られました。この深刻な体験の後やっと帰国せられましたが、復員後の生活もただならぬものがありました。先生晩年のある時、私は先生に野暮な質問をいたしました。「恩師西晋一郎先生の強いお勧めがなかったら、異国の地の辛酸痛苦を味わわなくてすんだのではなかったでしょう」と後悔なされたでありますしようにと申し上げたところ「あなたもあろう者が何を言いますか。後悔するとは、これっぽっちも考えたことがありませんよ」と厳しい表情で仰言られました。正に絶対肯定即絶対最善を説かれる先生に對して愚問を發したものでした。

思えば「信」とは全肯定・全受容・全感謝であると改めて教えられた次第でした。

平成22年4月「若竹」寄稿より

《11月カリキュラム》

11月の秋季宿泊研修につきましては、開催の検討をしてまいりましたが、コロナ禍における現況を鑑み、感染リスクを避ける為、誠に残念ではありますが、中止とさせて頂きました。

開催を待ちわびてくださって居られるみなさま方には誠に申し訳ございません。

11月は、左記の通り開講させて頂きますので、ご出席の程、宜しくお願いいたします。

◆ 日時 11月14日(土曜)

課外学習 午前10時30分～

DVD放映(横田南嶺老師)

基準開講 午後1時～

◆ 講師 高山良二氏

「平和の種になりたい
〜地雷原の村での戦い〜」



1947年愛媛県生まれ。地雷処理専門家。1966年陸上自衛隊に入隊。1969年カンボジアPKOに参加。2002年陸上自衛隊を定年退官と同時に認定NPO法人日本地雷処理を支援する会(JMAS)に参加。1年の大半をカンボジアの地雷原の村で過ごし村人と共に地雷処理をする傍ら、村の自立を目指した地域復興にも奔走している。また東大寺で僧侶「補権律師」の地位を得る。

◆ 会場 大阪大学中之島センター

《ちよつと休憩!!》

なんじゃこりゃ!

おもしろサラリーマン川柳

肩たたきむかし童謡いま我が身

結婚前君と来たねがいま墓穴

この俺に温かいのは便座だけ

久々の化粧に子どもあとづり

マフラーのこゝ迄前の彼の分

シルバー川柳

妖精と呼ばれた妻がいま妖怪

このごろは話も入れ歯もかみあわず

シルバーがジルバ踊って救急車

おれおれの詐欺もお手上げ遠い耳

クラス会 食後は薬の説明会

食欲の秋

秋深し隣は何を食う人ぞ

食欲はあれども先立つ金がない

秋だけかわたしの食欲 年中無休

わが家では一文字違い 舞茸だ

妻想い涙でしよばい おはぎかな

みなさんも一句ひねってみませんか?

川柳・俳句等事務局まで投句ください。

お待ちしております。